

■ 周辺環境改善に向けた取組について

この地域の歴史的背景を踏まえると、単にごみ搬入路の違法性を解消するだけではなく、北川原公園と多摩川・浅川沿いの自然環境を活かした水と緑の一体的な環境整備が必要であるとの思いから、下図の様なクリーンセンター周辺の環境改善に資する提案をまとめました。

この提案をもとに、今後継続的に議論を行う場を新規に設け、クリーンセンター周辺地域の環境整備構想をまとめたうえで、計画的に整備に取り組むべきと考えます。

北川原公園と河川敷エリア構想 ~People Meet Nature~

4つの基本方針

- ・自然共生をテーマにした活用でエリア価値を高める
- ・憩い学び体験できる環境とアクティビティを生み出す
- ・防災と安全安心機能を兼ね備えた公園整備を進める
- ・エリアの内外をむすぶ遊歩道ネットワークを作る

◇河川敷の活用

- ・川や河川敷の利用価値を高める



◇浅川兩岸をつなぐ人道橋の設置

- ・北川原公園と百草園方面をつなぐ人道橋を実現する
- ・川から丘陵地までの地理的ネットワークを創出する

◇立地を活かしたアクティビティ創出

- ・広い空を活かす
- ・自然環境を活かす
- ・コミュニティの力を活かす

◇地域資源の活用

- ・落川交流センター建替
- ・旧日野療護園 跡地の取得、広場整備
- ・プラスチックごみも含めたごみ搬入路の多摩川ルートへの一本化と検量棟移設（旧可燃ごみ処理施設の撤去）
- ・焼却場の余熱を有効に利用する
- ・土方歳三関連の集客施設を検討する
- ・日野高校などの学校活動と連携する

◇北川原公園の将来像

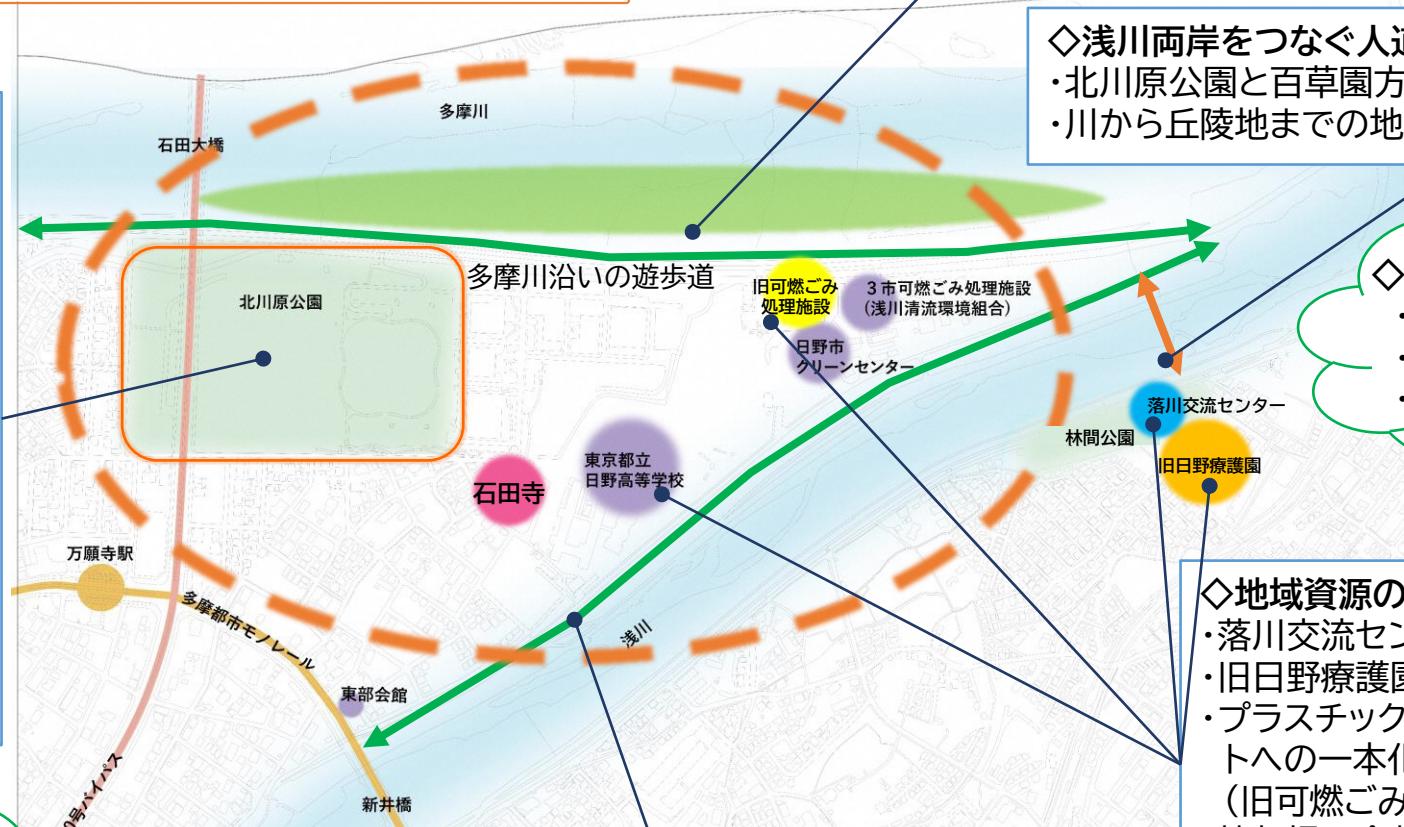
- ・公園の南北の一体的整備と回遊性向上を図る
- ・防災拠点や避難所を兼ねた整備を進める
- ・南側未利用地の魅力的活用を追求する
- ・公園内に樹木を植樹
- ・防災機能の拡充
- ・来訪者休憩スペースや屋内遊び場
- ・公園静音化のため、20号BP沿いに遮音壁等設置
- ・北川原公園の将来を見据えた全体活用策の検討

◇構想を進める際の配慮事項

- ・地域住民の生活環境維持
- ・河川氾濫等への安全性考慮
- ・他市の人に維持費を負担してもらう方策の検討

◇川沿い遊歩道整備

- ・資源ごみ施設を多摩川側に移動して浅川堤防道路を歩行者優先の遊歩道化する
- ・浅川と多摩川合流点をつないでエリアの回遊性を確保する
- ・浅川河川敷の魅力を上向きさせる
- ・散策、サイクリング、ランニングのルートを整備する
- ・プラスチックごみ収集車の浅川沿い利用の廃止



1979年 日野市が都市公園としての北川原公園計画を策定